電波時計
取扱説明書

取扱説明書番号　MA-Q017B

このたび弊社コンビネーション電波時計をお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。この取扱説明書はお手もとに保存のうえ必要に応じてご覧ください。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●お取り扱いについて

⚠ 警告　防水性能について

＊防水時計の防水性能や機能を必ずご確認いただき、「取扱説明書」に従って正しくご使用ください。
（誤った使用は、危険です。）

・非防水時計　：水滴のかかる場所でのご使用はできません。
・3気圧（3BAR）防水時計　：洗顔などはできますが、水中でのご使用はできません。
・5気圧（5BAR）防水時計　：水泳などはできますが、スキンダイビング（素潜り）などにはご使用できません。
・10/20気圧（10/20BAR）防水時計　：スキンダイビングなどはできますが、スキューバダイビングにはご使用できません。
・防水性能 …… 時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図をご参照ください。

りゅうずはきちんと押し込んでご使用ください。

仕様	表示 ケース	表示 文字板	使用例 水のかかる程度の使用。（洗顔、雨等）	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバダイビングに使用。	水滴がついた状態でのりゅうず操作
非防水	—	—	×	×	×	×	×
3気圧防水	WATER RESIST	WATER RESIST または無表示	○	×	×	×	×
5気圧防水	WATER RESIST	WATER RESIST (5BAR) または無表示	○	○	×	×	×
10気圧防水 20気圧防水	WATER RESIST	WATER RESIST (10/20BAR) または無表示	○	○	○	×	×

ご注意

・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじロック式タイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうずの操作をしないでください。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活防水以上の機能を要する時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起すことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
・防水時計の場合、海水に浸した時や汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。（蛇口の水を直接かけないで、汲んだ水で洗ってください。）
・時計の内部にも多少の湿気がありますので、外気の温度が時計内部より低いときは、ガラス面がくもる場合があります。くもりが長時間消えない時は、お買い上げ店でご相談ください。
・一定の防水性能を保つため定期的に（2～3年を目安に）パッキンの交換をしてください。（お買い上げ店でご相談ください。）

⚠ 注意　携帯時の注意

・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分にご注意ください。また、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。

⚠ 注意　金属バンドのお取り扱いについて

・バンド中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　電池のお取り扱いについて

・幼児の手が届かない所に置いてください。
・万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師と相談して治療を受けてください。

⚠ 注意　電池交換について

・電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

⚠ 注意　かぶれについて

・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。また、皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起すことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。（時々はりゅうず通常位置のままでりゅうずを空回りさせてゴミ、汚れを落としてください。）
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐ医師に相談してください。
（かぶれの原因）金属、皮革アレルギー、時計本体およびバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。

〈時計のお手入れ方法〉
・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。

ご注意

温度について
・－10℃～＋60℃から外れた温度下では機能低下や、停止することがあります。
・直射日光にさらしたり、炎天下の車内など高温になる所に長時間置かないでください。故障の原因になったり、電池寿命が短くなります。
・屋外など、低温になる所に長時間置かないでください。故障の原因になったり電池寿命が短くなります。

磁気について
・磁石には近づけないでください。磁気健康機具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの止め具、携帯電話のイヤホン部など、磁気に近づけると正しい時刻を表示しません。この場合は磁気から離して時刻修正をし直してください。

静電気について
・クオーツウオッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示がずれることがありますのでご注意ください。

ショックについて
・床面に落とすなどの激しいショックはあたえないでください。

化学薬品・ガス・水銀について
・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

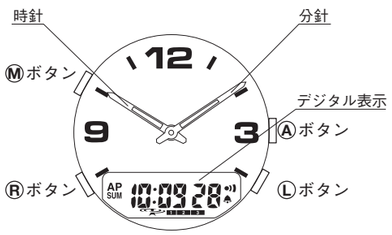
保管について
・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管ください。

お買上げいただいた時計についている電池について
・この電池は、工場で組立時に機能、性能を確認する為のモニター用電池です。お買上後、所定の年数に満たないうちに寿命が切れてしまう事がありますのでご了承ください。
※電池は、保証外です。保証期間内であっても交換は有料となります。

製品仕様　TP02

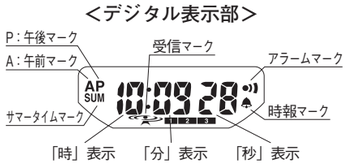
1. 特　　徴：長波標準電波を受信し、時刻を自動修正できるコンビネーション時計
2. 時 間 精 度：平均月差±30秒以内（常温5℃～35℃）
　電波受信による時刻修正が正しく行われなかったとき
3. 基 本 機 能：時 刻 表 示　時・分・秒（午前／午後または24時間制の切替え表示）
　カレンダー　年・月・日・曜日（2099年までのフルオートカレンダー）
4. 付 加 機 能：電波受信機能
　受信電波　日本標準電波　福島局（40KHz）／九州局（60KHz）
　定時受信　1日最大2回（午前3時5分、午前4時5分）
　強制受信　手動による受信
　受信局自動選局機能（日本標準電波専用）
　受信中レベル表示
　受信結果確認機能
　ア　ラ　ー　ム　時刻アラーム
　時　　報　毎正時
　ストップウォッチ　通常計測　スプリット計測
　デュアルタイム　時・分・午前（A）・午後（P）
　サ マ ー タ イ ム　ON/OFF
　バ ッ ク ラ イ ト　Ⓛボタンを押すとデジタル表示部が発光する
5. 使 用 電 池：CR2016　1個
6. 電 池 寿 命：約2年
　（電波の受信回数や各機能の使用状況によって異なります）

各部の名称

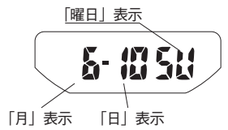


曜日表示について
SU：日
MO：月　TH：木
TU：火　FR：金
WE：水　SA：土

＜デジタル表示部＞



時刻表示



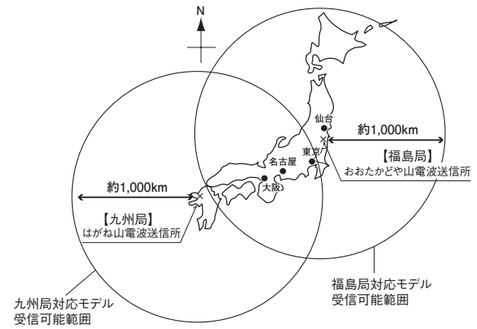
カレンダー表示

電波時計について

○電波時計について
電波時計とは時刻情報をのせた長波標準電波を受信し、時刻表示を修正する時計です。

○標準電波について
日本の標準電波（JJY）は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所」から送信されています。
これらの標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、補修作業や雷対策で一時的に中断される事があります。詳しい情報は、日本標準時計グループのホームページをご覧ください。
http://jjy.nict.go.jp/

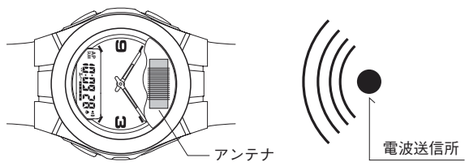
○電波受信範囲の目安
この時計が受信可能な地域の目安は標準電波送信所より約半径1000kmです。但し標準電波の届く範囲は時間帯や季節、気候条件、周辺環境により変化する事があります。



※受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲内でも受信出来ない場合もあります。

○上手に受信する為に
●電波は金属の遮蔽物により受信しにくい事があります。鉄筋コンクリートの建物などでは出来るだけ標準電波送信所方向の窓の近くで受信してください。
●安定した受信を行う為に受信中は時計を動かさないでください。
●受信アンテナ（時計の上側に組込まれています）の向きを標準電波送信所に向けると安定した受信を行うことが出来ます。

受信時の時計の向き



●受信中に表示される受信マークで受信状態の確認をすることが出来ます。標準電波を安定して受けることの出来る場所、時計の向きを見つけておくと安定した受信を行う事が出来ます。

※強い電波を受信している表示をしていてもノイズ等の周辺環境により受信出来ない場合もあります。
※受信に要する時間は最大で13分です。標準電波送信所からの距離、時間帯、季節変化、天候等により変化することがあります。

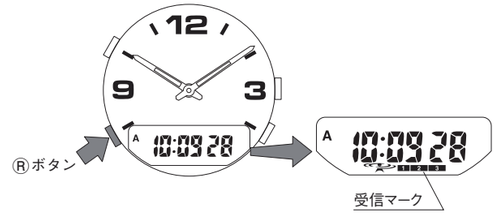
○受信が困難な場所
●極端に高温、低温な場所
●鉄筋コンクリートの建物の中や地下、高層ビルや山などの谷間
●車、電車、飛行機等の中
●高圧線、電車の架線、飛行場の周辺等ノイズの発生し易い場所
●テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やインバータ付き蛍光灯、ＯＡ機器、ご使用中の携帯電話の近く
※受信困難な環境下では時計に内蔵されているクオーツの精度で作動します。受信可能な環境に戻ると受信を行う事により正確な時刻を表示します。
また、受信を行ってから次の受信を行うまでの間も時計に内蔵されているクオーツの精度で動作します。

電波の受信方法

電波受信には定時受信と強制受信があります。電波を正しく受信すると自動的に時刻、カレンダーが修正されます。

○定時受信
● 1日最大2回（時計の表示時間基準で午前3時5分、4時5分）自動的に受信をおこないます。2回のうち1回受信が成功すると以後の定時受信をキャンセルし、翌日（午前3時5分、4時5分）まで定時受信は行われません。

○強制受信



●時計表示の時にⓇボタンを３秒以上押し続けると受信マークが点滅して受信を行います。受信に適した環境に置いて２～１３分お待ちいただきますと安定した受信を行う事ができます。
※受信を行う際には（○上手に受信する為に）を参照し、受信し易い環境で行ってください。
※受信を開始するとき、針が進むことがありますが異常ではありません。
※受信中は針は止まります。受信が終了すると現在時刻へ針が早送りされ通常の運針に戻ります。
※針の早送り中はⒶボタンを引かないでください。

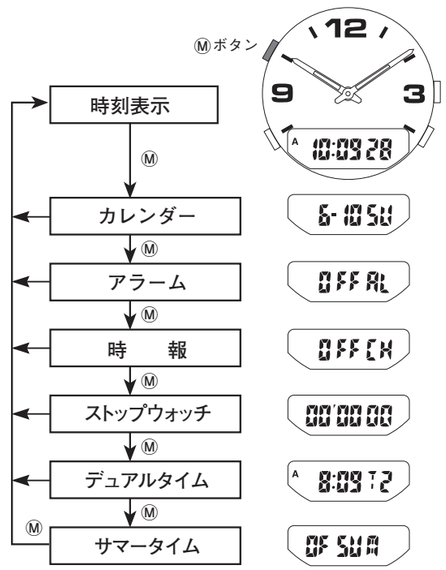
○受信マークについて
●受信結果の確認
最新の受信結果を確認することができます。Ⓡボタンを押します。
●受信している場合
デジタル表示部”秒”表示部に "OK" を表示します。
●受信できていない場合
デジタル表示部”秒”表示部に "nG" を表示します。
また、受信に成功後にⒶボタンを引く操作を行うと その後の受信結果は "nG" を表示します。

OK表示　nG表示

※受信が正常に終了しているにも関わらず正しい時刻、カレンダーが表示されていない時は受信中にノイズ等が影響し、間違ったカウントを行った事が考えられますので場所を変えて再度受信を行ってください。
※受信機能を多用しますと電池消耗を早めますのでご注意ください。

表示の切り替え方

※Ⓜボタンを押すと以下の順序で切替ります。



時刻、カレンダーの使い方

標準電波の受信による時刻合せの他、手動で時刻を合せる事も出来ます。

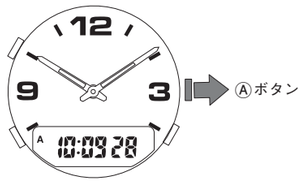
※受信を行うと正確に時間を合せる事が出来ます。

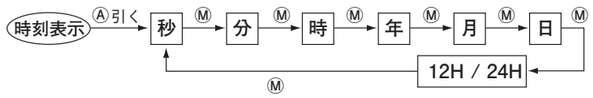
○受信による時刻の合せ方

●電波の受信方法 を参照してください。受信が行われ時刻、カレンダーを合せられます。

○手動による時刻の合わせ方（受信が困難な場合）

●時刻表示の時にⒶボタンを引くと「秒」が点滅します。点滅箇所が修正可能です。Ⓜボタンを押す毎に点滅箇所が下記の順で移動しますのでⒷまたはⓈボタンを押して合わせてください。





○秒の合わせ方

●「秒」が点滅している時にⒷボタンを押すと秒表示が「00」秒になります。

○分、時、年、月、日の合わせ方

●Ⓜボタンを押して修正する箇所を選びⒷボタンを押して合わせてください。押し続けると早送りとなります。

○12時間制表示／24時間制切換え方

●12Hが点滅しているときにⒷボタンを押し、時間制を切替えてください。

○修正の終了

●修正が終了したら、Ⓐボタンを戻します。デジタル表示部に修正後の時刻が表示され、針はデジタル部の表示時刻に合う迄早送りされます。

※針の早送り中はⒶボタンを引かないでください。

※針の早送り中は以下の操作が出来ません。通常運針になるまで待ってから操作して下さい。

（1）手動による時刻修正　（3）デュアルタイム時刻修正

（2）アラーム時刻設定　（4）サマータイム ON/OFF

アラーム時報の使い方

アラームは分単位でセットできる他、「ON」「OFF」を切替える事も出来ます。

※受信中にアラーム設定時間になりますと受信は一時中断し、アラーム終了後に再度受信を行います。

○アラーム時刻の設定の仕方

●アラーム表示の時にⒶボタンを引くと「時」が点滅します。Ⓑボタンを押して「時」をセットして下さい。Ⓑボタンを押し続けると早送りになります。「時」のセットが出来ましたらⓂボタンを押してください。

●「分」が点滅するので同様にセットして下さい。Ⓐボタンを戻すとセットが完了しアラムマーク“ ●))) ”が表示されます。「時」の修正途中でもⒶボタンを戻すとセットが完了します。

●セットした時刻になるとアラームが鳴ります。アラーム鳴り中いずれのボタンを押しても音を止める事が出来ます。

○アラーム解除の仕方

●アラーム表示の時にⒷボタンを押すとアラームの「ON」「OFF」が切換ります。

○時報のON/OFF

●時報表示のときにⒷボタンを押すと時報の「ON」「OFF」が切換ります。

ストップウォッチの使い方

計測時間は1/100秒単位で23時間59分59秒99まで測定でき、時間経過後は自動的に0に戻って計測し続けます。

（1）ストップウオッチ表示の時にⒷボタンを押すと計測を開始します。再びⒷボタンを押すと計測がストップします。さらにⒷボタンを押すと計測のストップしている状態から再度計測を開始すると積算計測もできます。

（2）計測がストップしているときにⒶボタンを押しますと計測カウントがリセットされます。

（3）ストップウォッチ計測中にⒶボタンを押しますとスプリットタイム計測を行う事がが出来ます。スプリットタイム計測では表示は停止しますが時計は計測を続けています。再度Ⓐボタンを押すとストップウォッチ計測中表示に戻ります。

（4）スプリットタイム表示中にⒷボタンを押すとストップウォッチ計測がストップします。再びⒷボタンを押すとストップウォッチ計測が再開されます。

（5）スプリットタイムがストップしている時にⒶボタンを押すと計測カウントがリセットされます。

デュアルタイムの使い方

※時刻表示のほかに、もう一つの時間を表示できます。
デュアルタイムでは１時間刻みで時刻をセットできます。

○デュアルタイム時刻のセットの仕方

●デュアルタイム表示のときに、Ⓐボタンを引くと「時」が点滅します。Ⓑボタンを押して「時」をセットしてください。「時」のセットが出来ましたらⒶボタンを戻してセットを終了します。

サマータイムの使い方

※この時計をご使用になっている国が現在サマータイムのときはサマータイムを設定してください。

○サマータイムのセットの仕方

●サマータイム表示のときにⒶボタンを引くと 「OF」が点滅し現在サマータイムのセットが「OFF」であることをあらわします。Ⓑボタンを押して「ON」「OFF」を切換えて下さい。セットが出来ましたらⒶボタンを戻してセットを終了します。

※2005年9月現在、日本ではサマータイムは実施されていません。

基準位置の確認、合わせ方

基準位置とは、時計内部のICが記憶している12時00分のときの針の位置です。この基準位置では針も12時00分を示します。ただし、電池交換や時計に強い衝撃が加えられたときや、静電気の影響等でICの記憶している基準位置と、実際の針の位置がズレることがあります。基準位置がズレているとデジタル表示部と針の時刻が合わず、正しい時刻を表示しませんので合わせ直してください。

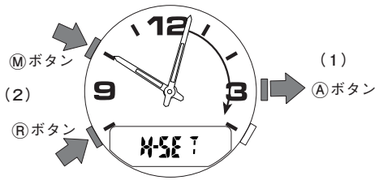
※この作業は時刻表示のデジタル表示部と針の時刻が合わない場合に行ってください。

※電池交換後は必ず基準位置合わせを行ってください。

○基準位置の確認の仕方

（1）Ⓐボタンを引く。秒が点滅します。

（2）ⓂボタンとⒷボタンを同時に３秒以上押します。デジタル表示部に「H-SET」が点滅し、針が早送りされます。



（3）針が基準位置で停止する。

●針が12時00分で停止した場合。
→針の基準位置は正しいです。
Ⓐボタンを戻してください。針は元の時刻表示に戻ります。

●針が12時00分以外のところで停止した場合。
→針の基準位置がズレています。「○基準位置の合わせ方」をご参照になり再設定してください。

○基準位置の合わせ方

（1）Ⓑボタンを押すと針が早送りされます。

（2）12時00分の1～2分前のところで再びⒷボタンを押して針を止めます。

（3）Ⓜボタンを数回押して針を進め 12時00分に合わせます。

（4）Ⓐボタンを戻してください。針は元の時刻表示に戻ります。

バックライトの使い方

全ての状態でⒶボタンを押すとバックライトが点灯します。ボタンを１回押した時のバックライト点灯時間は約２秒です。

※バックライト照明を多用しますと電池消耗を早めますのでご注意ください。

電池の交換

どの表示の状態であってもバックライトを点灯させた時に表示が薄くなる場合、また通常のご使用で表示が薄くなる場合はご使用の電池が消耗した事を表わしますので至急電池を交換してください。電池交換後は以下の手順で針位置を合わせてください。

（1）Ⓐボタンを引く。秒が点滅します。

（2）ⓂボタンとＲボタンとⒶボタンを同時に３秒以上押します。デジタル表示部に「00-SET」が点滅します。

（3）Ⓑボタンを押すと針が早送りされます。

（4）12時00分の1～2分前のところで再びⒷボタンを押して針を止めます。

（5）Ⓜボタンを数回押して針を進め12時00分に合わせます。

（6）Ⓐボタンを戻してください。12:00 00で時計がスタートし、自動的に受信を開始します。時計を受信し易い場所に置いてください。